



Lions Clubs International District 336-B 7R-1Z

# 6LC合同会報誌



ライオンズクラブ国際協会336-B地区

地区アクティビティ・スローガン 『**笑顔で奉仕**』**地域のために!未来のために!**

地区ガバナー・スローガン 『**challenge to change**』**変化への挑戦**

# 新年のご挨拶



ライオンズクラブ国際協会336-B地区  
ガバナー 藤井 信英

新年明けましておめでとうございます。早くも半年が経ち、折り返しの時となりました。昨年は、各クラブ並びにメンバーの皆様方には大変お世話になりました。お陰様で10月8日前後に行われた世界ライオンズ奉仕デーへの取組も皆様方のご協力により無事成功裡に終えることができました。これも皆様方のご理解とご協力の賜物です。

今期からMission1.5世界の会員数を2027年7月1日までに150万人にし、10億人の方々に奉仕の手をさしのべる取組が始まりました。会員を増やす事も勿論大事ですが退会者を減らす事も大きな課題であると私は思っております。今一度、ACTの見直し、感動を得る事が出来るACTを模索していただき楽しいライオンズライフが送れるよう今一度再確認していただきたいと思えます。

今期のガバナースローガンである「Challenge to Change」変化への挑戦をモットーに伝統を確認しながら時代に合っているかどうか？変える必要のあるものは変え、新しく取り入れるものは取り入れて実行して参ります。本年4月27日(土)には第70回地区年次大会が開催されます。地区大会スローガンは「70年！みらいに向かって」です。336-B地区の更なる前進のためにみらいに向かってチャレンジしていきましょう。

そして、各クラブ会長様をはじめメンバーの方々におかれましては、これからの半期を是非クラブの活性化と会員純増、退会防止に向けてご協力をお願い申し上げますと共に、来期に向けて更なるご活躍を期待致します。

本年も皆様方のご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶

キャビネット幹事  
松岡 哲也

初めに能登半島地震災害にて被災された皆様方には心よりお見舞いを申し上げますと共に、一日でも早く復興活動が進みますことを心より祈念いたします。



昨年度は藤井キャビネットの活動にご理解とご協力を賜り心より御礼を申し上げます。

早いもので上半期も瞬間に時が経ち、今期も残すところ半年となりました。とは言え、4月6日には西日本豪雨災害からの復興を喜び、能登半島地震災害の被災地ならびに被災された方々への支援として開催される『まびフェス』、そして4月27日には第70回地区年次大会が控えております。この2つのイベントは地区内各クラブの皆様方のご協力なくしては成り立ちません。皆様方のお力添えをお願い申し上げますと共に、7R1Zの各クラブ、会員の皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

## 新年のご挨拶

7R1Z ゾーンチェアパーソン  
福家 成夫

令和6年の新春を迎えライオンズの皆様に謹んで新年のお喜び申し上げます。

皆様のご指導ご協力もあり何とか半分の任期を過ごすことが出来ました。

昨年は各クラブに初めて訪問し、それぞれの会の進め方や考え方を目の当たりにし、改めて自分の視野の狭さを痛感いたしました。が、一方では志を同じくする多くの仲間の輪を広げるために、皆様一人ひとりの交流が必要ではないかと感じています。

その第一歩になればと、6LC 新年合同親睦会を開催させていただきます。各々のクラブとは違う新しいライオンズを感じてほしいと思います。約245人の仲間がいるからこそ、出来ることがあると思います。

任期も残り半分となりましたが、精一杯頑張っていきます。交流と絆を胸に引き続き皆様のご支援、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



# 風紋

鳥取ライオンズクラブ

会長スローガン 「皆で奉仕、楽しく奉仕」



鳥取ライオンズクラブ 会長 松本匡司郎

皆さま新年明けましておめでとうございます。

今年度の鳥取 LC のスローガンは「皆で奉仕、楽しく奉仕」です。

近年は、パンデミックの多大な影響や軍事的国際情勢など不安定、不透明な時代となっ  
てしまいました。そんな時こそ「We Serv」を目的に掲げる LC の存在意義は高いは  
ずと考えています。

諸先輩方が100年以上かけて出来上がった世界最大の奉仕団体であり、各 LC はその一部です。それゆ  
え様々な規定や手続きはありますが、全国で「自発的な奉仕活動」を最大限に生かす方法だと思います。

義務でもなく、対価を求めめるのでもなく、自由意思で参加している仲間です。なので、「維持継続」が目的  
にならぬよう、活性化した新規活動を模索したいと思います。

永遠のテーマである会員増強のためにも、目的は「奉仕」、手段は「楽しく」を明確にして、交流を深め  
ていきたいと思っています。



鳥取ライオンズクラブ 幹事 中尾 大蔵

新年おめでとうございます。ライオンズクラブの会員の皆様におかれましては穏やかな  
新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、幹事を賜りましてから早いもので半年が経ちました。振り返れば令和5年9月8日  
(金)、ホテルニューオータニ鳥取で藤井地区ガバナー並びにキャビネット役員の方々の公  
式懇談会・合同例会が開催され、336-B地区アクティビティ・スローガンやガバナー・スローガンの説明があり、  
引き続きMISSION1.5(ワン・ポイント・ファイブ:2027年7月1日までに全世界の会員数を150万人に増やす)を  
達成するための方法あるいは取組み方、またLCIF寄付の年間目標等の詳細な説明も拝聴させて頂きまし  
た。説明されている一言一句に説得力があり、また自信が漲っているようにも感じさせられいろいろと勉強させ  
て頂きました。

公式訪問があつてから4ヶ月経ちましたが、藤井地区ガバナーの意気込みを忘れることなく目標に少しでも近  
づけるようこれからもアクティビティを通して会員増を目指していきたいと思っています。

これからも6LCの会員相互の親睦を図りながらまた色々なことに挑戦をしていながら336B地区7R-1Zがます  
ます魅力のあるライオンズクラブとなるよう目指していきたいと思っています。



## クラブ紹介

MC委員長 小林 紀子

今年67周年を迎える鳥取LCは、伝統と歴史あるクラブとしてライオンズ精神を大切に様々な活動を続けています。昭和32年、国内の41番目のクラブとして、津山LCをスポンサーに29名で産声をあげました。国際特別代表ほか諸氏の御臨座のもと、2月16日に鳥取市内で発会式が行われました。

当時は、今のような通信も交通も発達した時代ではありませんでした。文章を米国と郵送でやり取りしていたころで、国際本部の正式な承認は9月となっています。実際には年度をまたいで承認となったことや、当時の鳥取で英語ができる人は少なく、英文の扱いにずいぶんと骨を折ったという話が、今でも語り継がれています。これも歴史あるクラブならではのことと思われまます。

結成当時のメンバーは既に御存命ではありませんが、毎年のチャーターナイトほか年度行事では、これまでの先輩方の活躍と社会貢献の偉大さをかみ締め、受け継いでいく責任と使命感を持って今後の活動に思いを膨らませています。



## 令和5年エクスカージョンのご報告

幹事 中尾 大蔵

令和5年10月28日(土) 但馬方面のエクスカージョンに14名のクラブメンバー並びにご家族が参加され行われました。当日は鳥取駅南を出発し【余部鉄橋(道の駅あまるべ)】で休憩をとりました。思い返せば概ね35年前頃は、鳥取から豊岡へ向かうときには浜坂町→余部→香美町(当時は香住町)→城崎町→左手に円山川(玄武洞)を見ながら海岸線を2時間かけて通行し、冬は断崖が多いのと潮風で道路上が直ぐに凍みきてとても怖かった記憶が甦ってきました。続いて次の目的地である【香住鶴】に到着しました、日頃はこの銘柄を飲むことも多々あったのですが製造元に立ち寄ったことがなく、色々勉強させていただきました。

さて当日のメインとも言うべき昼食会場である【やまめ料理・阿瀬】に着き、皆さんが席につかれやまめ料理が次々と配膳されてきました。正直に申し上げますと私自身生まれて62歳と数ヶ月経ちますが、川魚は少し生臭い感じがあり一切食したことがなく(両親は喜んで食べるのですが)、他のメニューを注文しようかとお店の方に内緒で聞きましたら「何もないです」と伝えられ少し途方に暮れていましたが、覚悟を決めて初めに配膳された柔らかく煮つけされた「やまめ」を少しだけ味見をしたところ臭みもなく頭から食べることができました。お陰様ですべて完食することが出来、家内も驚いていました。多少苦手意識も和らいだように思いますし特に今回参加させていただいて、本当に良かったと思いました。

続いて【豊岡市立コウトリ文化会館】では本物のコウトリを見るのは初めてでしたので、体が大きいことにびっくりでした。また【玄武洞公園】の落ちない岩や直線的な岩質の由来などの説明を受けました。

心配をしていました天候もバス移動中には降雨もありましたが、それぞれの目的地では雨にあうことなく本

当に快適な時間を過ごすことが出来たと思います。また私個人としても貴重な体験をさせて頂き感謝を申し上げます。これかもエクスカージョンを通して会員間のコミュニケーションを図り親睦を深めさせて頂き、色々な体験も行いながら見識を広げていければと思います。



## 鳥取砂丘一斉清掃に参加して

MC・IT委員 中山 忠雄

10月8日(日)晴天とまではいきませんでしたが、雨が降らなくて良かったという気持ちでした。

一般でもライオンズに入会しても、初めての参加となりました。予想もつかなかったのですが、現場に来てびっくり、大勢の人で溢れかえっていました。

私は、日曜日でちょうどよく散歩にもなるかと、息子と2人で参加しましたが、人混みにまぎれて迷子になりそうと思いつつ、迷子になり鳥取ライオンズの皆さんを見つけられずにいました。ちょっと心細い心持ちで居ましたが、みなさんが私たちを見つけてもらい、ホッとしたところでした。

今回、鳥取ライオンズクラブで私が最年少でしたので、さあ頑張るかど張り切りましたが、歩いて数分後(まだ海岸に至っていない)最後尾で歩いていました、えっ!みんな元気!?そして、息子にも置いていかれて、ついていくのがやっとでした。みなさん談笑する余裕があるのに、またびっくり!さあ、海岸に着きましたがけっこう量のゴミが漂着していて、遅れた分たくさんゴミを拾い集め帰りに後悔しました、そう持って帰るんだ?!と気づいた時にはすでに遅く、なかなか辛かったです。ちなみに私、1級小型船舶を持ってまして、船で積んで帰るのも有りなんじゃないかな〜と真面目に思いました。振り返ってみて、人力でゴミ収集も限りがあると思い今後、鳥取ライオンズでみなさんの特技を出し合って、もっと協力していけるような提案ができればいいなと思いました。

やっとゴミの集積場所に帰ってきて、みなさんそうは言ってもお疲れの様子、しかし、清掃後は気持ちが良いもので、みなさん笑顔で帰路につかれました。

また、来年も参加したいと思います。皆様お疲れさまでした。



# 獅子

## 鳥取中央ライオンズクラブ

会長スローガン 「グッドフェローズ ウィ・サーブの精神と共に」

### 新年のあいさつ



鳥取中央ライオンズクラブ会長 入江 峰生

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には穏やかな新年を迎えられたことと謹んでお喜び申し上げます。

昨年7月より鳥取中央ライオンズクラブ会長を拝命しまして早くも半年が経過致しました。前半はガバナー諮問委員会や公式訪問合同例会、6LC関係の行事が多々あり忙しい思いをした事もありましたが三役の皆様の助力のお陰を持ちまして何とか凌ぐことが出来ました。

就任前より新型コロナウイルス感染症も2類から5類へと移行し全ての社会活動がコロナ前の状況に戻りつつあります。当クラブでもアクティビティー、エクスカージョンを計画通りに実施する事が出来ました。これは会長方針の一つであります「コロナ禍からの復活」そのものであります、各委員会の皆様には引き続き宜しくお願い致します。

二つ目の会長方針であります「アクティビティー・エクスカージョンに参加しよう」ですが、エクスカージョンについてはLL、LBも多数参加頂きまして大変有り難く思っております。またアクティビティーについては未だ課題の残ることとなり力不足を感じております、再度のご協力をお願い致します。

三つ目の会長方針であります「会員増強によるクラブの活性化」であります。現在退会3名(不在1)入会者1名とマイナスになっております。入会予定者も有りますが目標のプラス2名にはまだ足りません、会員の皆様にはご理解ご協力を宜しくお願い致します。

新年早々お願い事ばかりになりましたが、残り半分まだ多くのアクティビティーも残っております。私自身もモットーに掲げた「グッドフェローズ ウィ・サーブの精神と共に」で頑張りますので、皆様の今以上のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

今年一年皆様にとって良い年になります様祈念しまして新年の挨拶とさせていただきます。



鳥取中央ライオンズクラブ幹事 寺谷 一

認証60年を超える歴史あるクラブに入会させていただき5年目となります。

そのクラブの幹事が務まるのかと恐縮しながら拝命いたしました。ベテラン先輩の入江会長のもと助けていただきながら何とか奮闘しているところです。

他の先輩方からも事あるごとに的確なアドバイスや助言をいただき大変感謝しております。プライベートのゴルフやお酒の席など例会以外の場面でもライオンズの事について真剣に議論を交わすこともあります。会員は40名程ですが纏まりのあるクラブです。7月には青谷こども学園さんとの地引網を4年ぶりに浦富海岸で行うことが出来ました。やはり子供達の笑顔や、はしゃぐ姿はキラキラしていて良いですね。こういったアクティビティを継続していくことは大切な事だと感じました。地域の方々や子供達に少しでも喜んでいただき笑顔になっていただけるような活動をしていきたいものです。



## 青谷こども学園との 地引網・バーベキュー交流事業

国際・社会奉仕委員長 水野 由久

令和5年7月2日に「青谷こども学園との地引網・バーベキュー交流事業」を開催しました。当該事業は新型コロナウイルス感染症の影響で4年振りの開催となりましたが、児童養護施設青谷こども学園の子ども達、職員の皆様、当クラブのメンバーと家族の総勢65名で楽しみながら交流を深めました。

当日は送迎担当が午前9時にバスで青谷こども学園に迎えに行き、開催場所の浦富海岸ではバーベキューの準備に取り掛かりました。残念ながら前日の大雨で海が荒れていた為、地引網はできませんでしたが、バーベキューで新鮮なイカやサザエなどの魚介類と牛肉を焼いて青谷こども学園の子ども達と職員の皆様に振舞いました。子ども達が美味しそうに夢中で食べたり、海岸で砂遊びに興じたり、生け簀のお魚に触れて喜んでいるキラキラした姿を見ることによって、我々も自然に笑顔になりエネルギーをもらいました。私は初めての参加でしたが、多くの学びを得ることができた事業だったと思います。来年も必ず開催して、今年できなかった地引網を子ども達と一緒に楽しみたいと思います。



## クラブ紹介と集合写真

\*結成／昭和37年(1962年)9月19日

\*認証／昭和38年(1963年)4月21日

\*スポンサークラブ／鳥取ライオンズクラブ

我国472番目に誕生して今年60年を迎えました。その間には2名のガバナーを輩出して地区の一端を担ってきました。また、思いやりを大切に時代に沿った事業に数多く取り組んでおりますが、その中で現在も受け継がれている事業に「青島公園の桜」があります。昭和46年(1971)250種類の桜の苗木1,000本を植樹して以降、下草刈りや施肥、剪定、清掃に従事して育成し、その周辺へ藤棚を植樹するなど公園整備を行い、春には多種の桜が楽しめる市民の憩いの場となっています。

「鳥取駅前の花時計」昭和58年(1983)に設置して40年、鳥取の顔として定着していますが、より良い花時計にして末長く存続することを願い2003年リニューアルしました。鳥取の玄関口を彩り四季折々に楽しめると親しまれています。

「南隈自然公園」鳥取市南隈にCN45周年時に構築し、60周年を節目に会員自身の手で木々の伐採や遊歩道のチップ敷など作業にあたり、散策の休憩の場になるよう東屋を建てるなど大規模に再整備しました。長期にわたる地域の環境を守り育てようとする先輩方の気概は連綿と受け継がれていくものと思います。



認証60周年記念式典(2023.5.28)ホテルモナーク鳥取にて  
1986年姉妹提携を結び友情を繋いで38年となる釧路ぬさまいLCの皆様を迎えて



# いなば

鳥取いなばライオンズクラブ

会長スローガン 「今まさに温故知新」



## 新年のあいさつ

鳥取いなばライオンズクラブ会長 池谷 勇治



新年あけましておめでとうございます。

ライオンズクラブ会員の皆様には、新春を明るく迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

昨年は、コロナウイルスの影響が和らぎ、新たなアクティビティを開始できた年でした。

閉塞感漂う日常生活を野外活動で気分転換するため、新しい試みとして8月には会員家族との

「芦津の森林セラピー」、10月には鳥取・青谷の各子ども学園との「青空交流会」を開催しました。更

に、7月の「納涼例会」、9月の「海岸清掃」、11月の「チャーターナイト例会」、12月の鳥取子ども学園での「もちつき大会」、そして「クリスマス例会」など、多彩なアクティビティを通じて、会員と家族の絆を深め、楽しい思い出を作り上げることができました。これらのアクティビティは、多くの会員や家族の参加により、盛大に実施することができ、会長として多くの課題に直面しながらも、会員の協力により、充実した半年を過ごすことができました。

今後も、笑顔で、楽しく、和やかに、そして有意義な例会を続けてまいります。

最後に、皆様の2024年が希望に満ちた、素晴らしい年となることを心からお祈り申し上げます。



鳥取いなばライオンズクラブ幹事 上田 隆司

新年、明けましておめでとうございます。

今期、幹事という大役を仰せつかり半年が経ちました。慌ただしく始まった今期も、ようやく幹事として慣れてきて、役割を少しずつではありますが、理解出来てきたように感じています。今年度は新型コロナの影響もなく、さまざまなアクティビティに関わることができ、とても充実した時間を経験させていただいております。

8月に智頭町芦津に出向き、自然豊かな森林セラピーを体験し、9月は山陰海岸ジオパーク内の海岸清掃を行い、共に活動を通じて環境保全に対する意識が高まりました。そして10月は鳥取砂丘こどもの国で青空交流会を開催し子供達と触れ合い、12月には鳥取子ども学園にて、鳥取城北高校相撲部の生徒と餅つきをして交流を図りました。どのアクティビティも事業を通して、地域、社会に貢献し、クラブの皆様と楽しく活動することができました。今後とも皆様のご指導ご協力をいただき、今年も明るく楽しい1年になりますよう、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## クラブ紹介

前会長 影山 嗣泰

当クラブは、1968年5月19日、鳥取中央ライオンズクラブ様スポンサーのもと28名の会員で結成され、11月17日国際協会より認証を受け、本年55周年を迎えました。「和をもってクラブ運営をする」という尾坂雅人初代会長の「和」という決意表明で述べられた言葉は、55年経った今もおクラブ精神の魂として受け継がれています。以来、会員同士の深い友情と強い絆により、55年もの永きにわたり地域に根ざした奉仕活動を続け、地域社会に貢献してきました。その経過の一端を紹介します。

5周年：重症心身障害施設へ寄付、障害児童、身寄りのない子供達、高齢者800名をインド魔術ショーへ招待、  
15周年：鳥取千代ライオンズクラブエクステンション、湖山池大樹荘近隣ヘライオンズ公園（老人憩いの家）を労力2,500時間、金額800万円かけて設置、美保球場へサンドエース寄贈  
20周年：ちびっこ文庫図書寄贈（市内43保育所、幼稚園）、LCIF1350ドル献金  
30周年：鳥取福祉会へ福祉マイクロバス1台寄贈、出合いの森へ藤棚設置(5LC合同)  
40周年：出合いの森に「いなばの森」を開拓、160本植樹、少年少女ミニバスケットボール大会開催  
50周年：鳥取駅前へ麒麟獅子の石像建立、こども学園との餅つき大会45回目、少年相撲城北大会開催、LCIF14,100ドル献金  
55周年：世界中を混乱に陥れたコロナ渦3年目の年、児童幼児を中心とした電子書籍「鳥取いなばライオンズ図書館」とし、鳥取市立中央図書館へ約200冊寄贈、近隣何処からでも借りる環境を作りました。第10回森林浴ウォーキング大会約400名参加、子供たちのお米作りファーム、稲刈りと収穫米400キロの寄贈（湖南学園、城北高校、環境大学など4団体へ）、会員及びボーイスカウトなど総勢180名でのジオパーク海岸清掃、この事業は、後に日本ライオンズ70周年記念議長賞、336複合地区ガバナー協議会議長賞、336B地区ガバナーズ大賞を受賞することとなった。また、年間会員純増12名は地区第一位で下半期ガバナーズ大賞を受賞した。

周年時以外では、1970年に鳥取久松ライオンズクラブ、1980年に気高ライオンズクラブをエクステンション、2006年4月に郡山開成ライオンズクラブと姉妹クラブを締結しています。

更に今年には新たな会員15名を迎え総勢92名となり、環境保全勉強会森林セラピーや恵まれない子供たちとの青空交流会を開催し、動物やプロサッカー選手とのふれ合いを楽しむなど、力強い多くの若手会員の精力的な取り組みにより活動を展開しています。これからも未来へむけて、尾坂雅人初代会長の「和」を継承し、地域やそこで暮らす人達のために尽くしていきたいと考えています。



鳥取いなばライオンズクラブ結成55周年記念 令和5年5月21日 於. 白兔会館



## 青空交流会

児童・青少年奉仕委員長 渡邊 千代

前日の雷雨とは違って変わって、朝から明るい光がさすこの日、令和5年10月28日、鳥取いなばライオンズクラブ(池谷勇治会長/91名)主催・チュウブ鳥取砂丘こどもの国協賛で『青空交流会』をこどもの国わんぱく広場にて開催いたしました。コロナ禍等で我慢することが多かった日々を過ごした子どもたちに、心身ともに開放し、のびのびと自由に過ごしてもらいたいというコンセプトのもと、社会福祉法人鳥取こども学園から児童・引率者65名、児童養護施設青谷こども学園から17名を招待し、爽やかな秋晴れのなか、思いっきり外遊びを楽しみました。

広場の一角には、「大山トムソーヤ牧場の出張ふれあい動物園」を開設し、アルパカやヤギ、ウサギにモルモットなど、たくさんの動物と触れ合いました。ふわふわと温かい動物たちに、どの子も優しい笑顔になっていました。また、地元Jリーグチームによる「ガイナレと遊ぼう」では、元Jリーガースタッフによる鬼ごっこを中心とした全身遊びを楽しみました。大人も子どもも一緒になってカー杯広場を駆け回り、元気いっぱい笑顔がはちぎれました。

お昼は広場にみんなでシートを広げ、青空の下で食べたお弁当はとても美味しかったです。午後からは、クラブメンバーお手製の大きなしゃぼん玉を作る道具を使って、たくさんの大きなしゃぼん玉を夢中になって作ったり追いかけたりする子どもたちの姿には、弾む笑顔で溢れていました。

帰る時間になり、子どもたちから「今度はいつするの?」「また遊びたい」「楽しかったあ」等声をかけてくれた表情が、とてもキラキラしていて今でも目に浮かびます。帰路に就く子どもたちを乗せたバスを見送りながら、今日という日がみんなの心に楽しい思い出として残るといいなと願いつつ、青空交流会を終えました。





# 久松

LIONS CLUBS INTERNATIONAL  
DISTRICT 336-B 7R-1Z  
TOTTORI KYUSHO LIONS CLUB

2023～2024年度 鳥取久松LC会長スローガン 「明るく楽しく元気に奉仕」



## 新年のあいさつ



鳥取久松ライオンズクラブ 第53期会長 木谷 清人

2023-24年の会長をお引き受けした時に、何を会長スローガンとするのかが私の最初の仕事でした。5月に新型コロナウイルスも5類相当となり、3年という長いトンネルをぬけたものの、何かを失ったような空虚感を覚えました。そこでまず会の運営が大切だと思い、スローガンを「明るく楽しく元気に奉仕」とし、行動計画として①アクティビティの復活、②会員の増強、③例会の活性化を掲げました。

会員の皆様の協力により、新たなアクティビティとして「地域食堂への支援」の実施が決まり、例会も計画委員会のアイデアで会員同士の交流がスムーズになるよう工夫をさせて頂いております。残るは「会員増強」ですが、現在会員獲得に向けて新たな取り組みを始めようと準備をしているところです。

会員増強は全ての組織の基本的な行動指針です。全会員が一丸となって、会期末までに目標達成をすべく活動を継続して参りたいと考えています。



鳥取久松ライオンズクラブ 幹事 山田 俊一

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、よき新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。本年も引き続きよろしくお願ひ致します。

昨年、新型コロナウイルスが5類へと移行したことで、「街頭献血活動」や「敬老ボウリング大会」など、以前のような活動が復活してまいりました。それと共に、木谷会長が掲げられています、「会員の増強」「例会の活性化」につきましては、目標が達成できますよう、皆様と共に力を尽くしていきたいと思ひます。

本年が皆様にとりまして、より良き一年でありますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 鳥取久松ライオンズクラブ紹介

鳥取久松ライオンズクラブは、鳥取いなばライオンズクラブをスポンサーとして1970年4月12日に日本で1501番目のクラブとして誕生いたしました。鳥取城跡を擁する久松山のように市民に愛されるクラブとなるよう願いを込めて命名され、認証以来様々な活動に取り組み、エクステンションとしては1987年に鳥取砂丘ライオンズクラブをスポンサーし地域社会に奉仕の輪を拡げてまいりました。

現在会員は27名が在籍し、当ゾーン内では唯一の支部である「しろやまクラブ支部」とともに活動しています。

主な活動は、高齢者健康支援の「鳥取市敬老ボウリング大会主催」、青少年健全育成事業では「鳥取市サッカーフェスティバル後援」、「鳥取市剣道大会後援」、「日本ボーイスカウト鳥取連盟後援」のほか、昨年12月には新規の福祉事業として、「鳥取市地域食堂ネットワーク」に加盟して寄付金と食材を贈呈しており、今後も継続的に活動に参加することとしています。

近年は、会員数の先細りと高齢化が進行しており、魅力ある活動を目指して例会の活性化に取り組んでいます。

今後は、会員の拡大を最大の目標として、頑張っていきたいと思えます。



しろやまクラブ支部との活動



鳥取市剣道大会兼吉川経家祭剣道大会後援



日本ボーイスカウト鳥取連盟支援



鳥取市敬老ボウリング大会主催



鳥取市サッカーフェスティバル大会後援



鳥取久松LC集合写真



街頭献血



EM活性液活用事業



## 地域食堂ネットワークへの支援

GST委員長 松下 稔彦

鳥取市には、誰でも立ち寄れる地域の居場所としての食堂「こども食堂」が数多くあります。そして、この運営団体とこれらを支援する企業や団体及び行政が一体となって活動する「地域食堂ネットワーク」があります。そして、現在では、鳥取市と周辺4町、兵庫県2町で形成する「麒麟のまち連携中枢都市圏」にまで拡大しています。鳥取久松ライオンズクラブでは、これらに着目し、新規アクティビティとして支援団体に加入し支援していくことを決定しました。

去る12月21日、事務局のある鳥取市中央人権福祉センターにおいて移動例会を開催し人権センター所長による講演の後、木谷会長により支援団体への加入宣言を行い、支援金や各会員が持ち寄った食材や調味料などの寄贈を行いました。

今後も継続事業として支援を続けるとともに地域の中で支えあうこの仕組みがますます発展していくよう支援団体の一員として努力してまいります。



川口センター所長による講演



# 千代

会長スローガン 「故郷に想いを寄せて! We Serve!」



## 新年のあいさつ



鳥取千代ライオンズクラブ会長 戸田 達久



6LCの皆様、新年明けましておめでとう御座います。

今年辰年です。成功の芽が現れ、成長し姿を整えていく縁起の良い年と言われています。コロナに苦しめられた3年間からやっと日常が戻りつつありますが、以前と比べれば色々な事が変わってしまった様な気がします。LC活動におきましてはほぼ例年の活動が戻ってきた様に思います。今年の私のスローガンは「故郷に想いを寄せて! We Serve!」です。生かされている事に感謝し、地元鳥取が今迄以上に元気よく、又若者達、子ども達が笑顔で明るく楽しく生活出来る様、知恵を出していきたいと思ひます。ただ地政学リスクを考えますと、先が読めない状況がまだまだ続くと思われまひます。こんな時こそ地に足を着けた活動で一步一步、歩を進めていきたいと思ひます。我が千代ライオンズクラブは実働14名程度の少数精鋭のクラブです。全員が仲良く発言も活発なクラブです。団結力はピカイチです。今年度も後半戦に向かひますが、楽しいLC活動を頑張りまひます。皆様どうぞ宜しくお願ひ致します。



## 幹事の独り言

鳥取千代ライオンズクラブ幹事 松島 浩之

謹賀新年

1917年LC国際協会がアメリカ、シカゴ市で誕生以来107年、その後1952年日本の東京クラブ結成以来今年で72年が経過してまひます。

この間会員は国際協会の目的、スローガン、綱領等のもと個人事業の発展、社会奉仕等に精進し、今日まで平和で自由に暮らして参りました。しかしながらここ1、2年海外では大きな戦争が2つ発生。いつ終息するのか全く予測不可。犠牲者の多くは一般市民、婦女子、子供たち。新聞、テレビ報道に接するたび何とかならないものかと考える機会が多々あります。ライオンズの誓いの中に「・・平和と自由を守り、・・」と謳われてまひますが、会員としてあるいは6LC合同アクティビティとして小さな事でも何かできることはないものか。

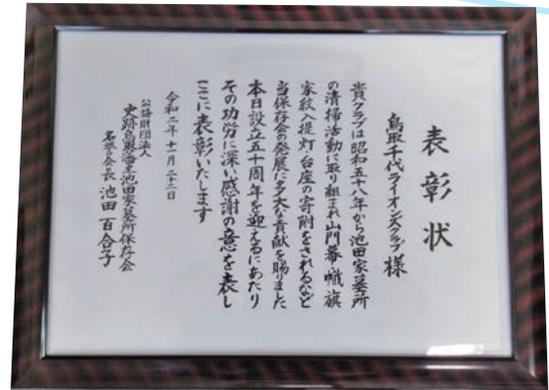
聡明なる地区ガバナーをはじめ各役員の皆様、紛争地域の平和と自由を守るため、少しの時間でも割いていただければ幸いです。



## 池田家墓所清掃活動

計画委員長 伊藤 裕恵

鳥取千代ライオンズクラブはチャーターナイト記念事業として、クラブ発足以来40年継続して池田墓所の清掃活動を毎年5月に行っております。そして、清掃後には池田藩にまつわるお話を保存会の方から聞いています。池田墓所繋がりで、今期、鳥取藩主池田家の菩提寺である興禅寺にて月見例会を開催致しました。住職様から興禅寺の成り立ち、仏像や庭園の説明を受けました。池田墓所もそうですが、興禅寺においてもこれらを維持するのに大変な労力が掛かっていることが伺えました。月見例会後、私は月に一度興禅寺に通うようになりました。禅を行うためです。今のところ全くの煩惱みれです。それでも大丈夫だと住職さんは言ってくれています。何より肝要なのは呼吸だと。続けていれば新たな境地が拓けるかもしれません。池田墓所の清掃が興禅寺に繋がり、それがきっかけで禅を行うようになりました。ライオンズ活動が数珠繋ぎになっています。きっとこれから先もずっと。



## クラブ紹介

地区GLT委員 片山 武夫

私共鳥取千代ライオンズクラブは、鳥取いなばライオンズクラブの支援を受けまして1982年10月24日結成、1983年5月15日ライオンズクラブ国際協会から認証を受けて誕生した、日本で2609番目のクラブです。

昨年度40周年を迎えました。現在の会員数は18名です。1985年2月に姉妹クラブとして姫路広陵ライオンズクラブと提携を結び、両クラブの周年事業や青少年育成アクティビティなどを行ってきました。現在当クラブが行っている活動内容を少しご紹介します。



2012.10 結成30種年記念事業



2012.7 納涼家族会



2013.5 EM掃除

○クラブ運営部門

鳥取市主催による「花の祭り(4/29開催)」と「木の祭り(11/3開催)」で餅つきを行っています。一般の方が杵を持ち、餅つき体験をしてもらっています。収益金は各団体に贈らせて頂いています。

○奉仕部門

- ①結成以来毎年、鳥取藩主池田家墓所の清掃を行っています。また家紋入り幔幕、のぼり旗、提灯等寄贈させて頂いています。
- ②鳥取市内の小学校プールにEM活性液の散布活動をしています。活性液はプール内に蔓延するアオコの発生を防ぎ、掃除がし易くなります。

○国際交流事業

鳥取大学留学生と鳥取市長谷地区と当クラブメンバーで、1月に餅つきイベントを行っています。搗きたての餅と、留学生に作ってもらう自国料理と地域住民の方と作る鍋を囲んで交流を深めています。

○国際平和ポスターコンテスト

ライオンズクラブ国際協会が主催する青少年プログラムの一つで、11~13歳の子どものを対象に毎年世界平和をテーマにした絵を描いて頂いています。

今、当クラブ最大の悩みはメンバーの減少です。少ない人数ではありますが、自分たちが出来る事を精一杯取り組んで頑張っています。



2017.4 親睦旅行



2017.7 YCE歓迎会



2018.4 平和作文優秀賞表彰式



2019.1 鳥大留学生と餅つき



2019.7 YCE歓迎会



2021.3 平和ポスター優秀賞



2021.11 瓦町ロータリー看板架け替



2022.3 社協へかき餅贈呈



2023.11 木の祭り



2023.9.27 移動例会(興禅寺)



2023.12.22 クリスマス家族会

# 砂丘

TOTTORI SAKYU LIONS CLUB  
LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 336-B 7R-1Z



会長スローガン 「我々は、真剣に奉仕する」



## 新年のあいさつ



鳥取砂丘ライオンズクラブ会長 今田 慶太



新年明けましておめでとうございます。鳥取砂丘ライオンズクラブの今年度会長の今田慶太と申します。本年もよろしくお願いいたします。

当クラブは鳥取久松ライオンズクラブ様をスポンサークラブとして昭和63年6月5日に認証されたクラブになります。昭和の終わりに誕生した当クラブは平成の時代を駆け抜け、令和の時代となった昨年度、無事35周年の記念式典を開催することができました。次の節目である認証40周年の実現に向け、会員全員でライオニズム活動に邁進しているところでございます。

さて、昨年11月18日には、当クラブ最大のアクティビティであるチャリティーバザーを4年ぶりに開催することができました。当日は雨の天気予報でしたが、成功裏に終えることができました。色々と準備が大変でしたが、その分、クラブ会員相互の絆が深まったものと確信しています。

私の会長年度も折り返し地点に達しました。今後ともよろしくお願いいたします。

鳥取砂丘ライオンズクラブ幹事 仲山 昭彦



明けましておめでとうございます。鳥取砂丘ライオンズクラブ幹事の仲山昭彦です。2023年7月より、会員の皆様のご指導をいただきながら半年経過しました。任期の2024年6月まで、職務を全うしていきたいと思っておりますので、2024年もよろしくお願いいたします。当クラブは、様々なアクティビティを通じ、会員の団結力を高め、「We Serve」「われわれは奉仕する」の精神で各自ができることを一生懸命していく、そういう風土が育まれていると感じております。2024年も更に団結力を高め、様々なアクティビティに全員で取り組んでいきたいと考えております。

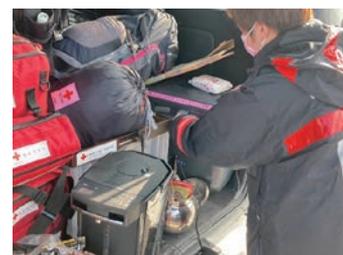
## 能登半島地震について

犠牲となられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

救助活動、災害ボランティア活動に従事されている方々には、心から感謝を申し上げます。

鳥取砂丘LC認証35周年記念事業で日本赤十字社鳥取県支部に贈呈した災害時用発電機を早速活用させていただいていると、被災地へ派遣の日赤救護班から報告をいただきました。

被災地域の皆さまの安心と安全、そして日常の生活が一日でも早く戻ることを心よりお祈り申し上げます。





## クラブ紹介

PR会報・情報大会副委員長 福井 悦生

鳥取砂丘ライオンズクラブは、鳥取県東部地区で最後に誕生したクラブです。昨年度は、認証35周年の記念すべき年にあり、記念事業を盛大に開催することができました。

我がクラブの強みは、クラブ発足時からの大先輩がたくさんおられることです。イベントやアクティビティがある度に、若手と大先輩とが一つになれます。若手は先輩を尊敬し、先輩は若手を、温かく見守って下さり、また時には、厳しく指導もして下さいます。だからこそ和気藹々と楽しく活動できています。

昨年6月には、「砂であそぼう!」と題して、賀露海岸で手をつなぐ育成会のみなさまと一斉清掃をし、ビーチでビーサン飛ばしなどの競技をして楽しみました。今後、年間行事として続けて開催できることを願っています。そして、この度コロナ後、4年ぶりに鳥取駅前風紋広場でチャリティーバザーも開催できました。

その他、クラブ結成当時から行っている献血の呼び込み活動、鳥取砂丘清掃、散岐小学校プールEM活性液活用事業など、アクティビティは欠かすことはありません。

奉仕を通して会員同士の信頼や絆が生まれ、会員一人ひとりの人間力も深まっていくことは間違いありません。我がクラブの絆を、これから若手にも継承していけるよう盛り上げていきたいと思えます。



鳥取砂丘ライオンズクラブ 第22回チャリティーバザー 集合写真



EM活性液プール散布(散岐小学校)



山陰海岸ジオパーク(鳥取砂丘)一斉清掃



街頭献血



SDGs  
《ごみを拾って浜辺を活用》  
砂であそぼう!





## チャリティーバザーを終えて

実行委員長 安養寺 務

11月18日(土)に第22回チャリティーバザーを鳥取駅前風紋広場にて開催いたしました。コロナ禍で開催中止期間がありましたので、実に4年ぶりの開催でした。この間当クラブへ入会者もあれば退会者もありまして、実行委員長の私をはじめこのイベントを体験していない会員が約半数にのぼり、イベント運営が支障なくできるのか心配でしたが、経験豊富な先輩会員、事務局、関係者の皆様のお力添えをいただき開催までこぎ着けることができました。

迎えた開催当日はあいにくの天気予報で、最高気温が10℃を下回る強風を伴う雨予報でしたが、幸いにも午前中は雨が降らず、会場を訪れてくださいました皆様にもお楽しみいただけたのではないかと思います。

ステージイベントではカラオケ大会やものまねショー、さらには和太鼓演奏などで会場が大いに盛り上がりました。飲食ブースでは当クラブ直営出店の焼きそば、揚げ物が好評で、外部出店のたい焼き、てんぷらも飛ぶように売れました。午後からは降雨に見舞われたにもかかわらず完売となりまして、チャリティーに貢献することができ一安心しました。

今回は4年ぶりの開催で準備段階からいろいろ不手際がありましたが、この経験を次回以降に活かしてさらに充実したチャリティーイベントにしたいと思います。第22回チャリティーバザーに携わってくださった皆様にお礼を申し上げますとともに、次回以降へのさらなるお力添えをお願い申し上げます。今回のイベントで得た収益は、災害支援金として全額寄附させていただきます。また来年も開催いたしますので、引き続きこのイベントの趣旨をご理解いただきご協力よろしく申し上げます。



# 第34回 6LC親善チャリティーボウリング大会成績表

2023年11月17日(金)鳥取スターボウルにて

## 団体の部

〔優勝〕	鳥取いなばライオンズクラブ	2,082点
〔準優勝〕	鳥取砂丘ライオンズクラブ	2,008点
〔第3位〕	鳥取ライオンズクラブ	1,914点
〔第4位〕	鳥取中央ライオンズクラブ	1,810点
〔第5位〕	鳥取久松ライオンズクラブ	1,786点
〔第6位〕	鳥取千代ライオンズクラブ	1,696点

## 個人の部

〔優勝〕	下田 淳也 (鳥取砂丘LC)
〔準優勝〕	野村 祥平 (鳥取いなばLC)
〔第3位〕	光浪 房夫 (鳥取砂丘LC)
〔第4位〕	田賀 和明 (鳥取LC)
〔第5位〕	武島 雅幸 (鳥取いなばLC)
◇飛び賞	10位・20位・30位・40位・BB賞・11位(当月賞)・14位(当日賞)

◎チャリティー募金46,000円を鳥取市内8校で実施されたEM活性液活用事業のプール清掃(EM原液と糖蜜購入)に充当しました。皆様のご協力ありがとうございました。

## あとがき



新年あけましておめでとうございます。旧年は大変お世話になり有難うございました。元旦には世の中のお正月ムードが一変、能登半島地震で大規模な地震が発生しました。お亡くなりになられた方々、被災に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。今だ余震が続く中、被災地の方はとても不安な時間を過ごされていると思います。被災地の皆様が安心安全に暮らせる日が一日でも早く訪れますよう早い復興を祈り、我々ができることをやっていきたいと思っています。最後になりますが、6LC合同会報誌発行に際し、皆様のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今後とも宜しくお願いいたします。

鳥取LC MC委員長 小林 紀子



新年あけましておめでとうございます。3回目の合同会報誌が無事に発行されましたことお慶び申し上げます。新型コロナウイルスが5類になり制限がなくなり、各施設・団体様との交流が活発に行われていると感じられるアクティビティの報告がたくさんありました。他クラブの活動を共有し理解することで、アイデアや工夫が行われ地域の発展に繋がっていくものと思います。活発な活動が継続しますよう、皆様のご健康をお祈りいたします。

鳥取中央LC PR・会報委員長 中村 美香



新年あけましておめでとうございます。6LC合同会報誌を発刊するにあたり、各LC会長を始めとするご担当者また事務局に御礼申し上げます。昨年からコロナウイルス感染症による活動自粛から解放され、各地で多くの奉仕活動が盛んになってまいりました。今年も各LCが引き続き活発に活動されることを期待します。最後に新しく迎えた2024年が皆様にとって幸多き一年となりますようご祈念申し上げます。

鳥取いなばLC 指導力・会報委員長 清水 康一



新年明けましておめでとうございます。一昨年来模索してきた新規アクティビティも、昨年未ギリギリで実施に漕ぎつけ、今年は晴れやかな気持ちでスタートすることができました。また、例会の在り方も試行錯誤しながら見直しを進めており、今年は新しい活動のスタイルについての期待も高まり、会員の意識もより積極的になる年としたいと思っています。

鳥取久松LC MC委員長 秋山 光行



新年あけましておめでとうございます。合同会報誌発行も3回目となりました。昨年から新型コロナウイルスの5類への移行に伴い、本年は通常に近い生活が戻って来ると思います。今期も後半のアクティビティもたくさん残っています。平常のありがたさに感謝しながら、頑張って行きたいと思っています。

鳥取千代LC PR委員長 丸山 直正



新年明けましておめでとうございます。新年度のMC委員長を拝命しましたが、昨年度までと違い三年振り四年振りの事業が復活し大変忙しくなっています。クラブ誌も誌面が不足し、増ページにしても足りません。嬉しい悲鳴です。他クラブ様のアクティビティも元に戻り、活発に行動をされています。正月早々にはクラブ合同親睦会が開催され改めてメンバーの親睦を深めていただければと思います。

後期のアクティビティも前期同様コロナウイルスとインフルエンザに負けぬよう引き続き頑張りたいと思います。

鳥取砂丘LC PR会報・情報大会委員長 岸田 安雄